

社協なかつがわ

ボランティアセンターだより

平成19年1月1日発行

第8号

手話奉仕員養成講座修了

手話の基礎を学んだ80時間

平成18年7月1日から12月23日までの期間（合計39回、80時間）に「手話奉仕員養成講座」を開催し、29人の受講者が手話の基礎や聴覚障害について学びました。

受講者の感想としては「聴覚障害を持った方のコミュニケーション手段として手話は重要であり、一言で「手話」と言ってもいろいろな表現方法があることを学ぶことができた」

「手話で会話をする楽しさを知った」「これから地域の手話サークルに参加し手話の勉強を続け、手話の大切さを多くの人に伝えていきたい」などがありました。

また、この講座は、障害者自立支援法の「コミュニケーション支援事業」の一環として行われており、全日程の8割以上を受講された29人全員に修了証を交付しました。



▲体全体で表現することが大切です



▲29人が手話の基礎を学びました

地域の福祉イベントで活躍する

社協登録ボランティア団体 「麦の穂学園子どもフェスティバル」でのボランティア活動

平成18年11月23日(木)に児童養護施設「麦の穂学園」が主催する「子どもフェスティバル」が開催され、社協登録ボランティア団体7団体（中津川更生保護女性会、食生活改善推進協議会、フレンドリークラブ、中津川視聴覚クラブ、中津川子ども会育成指導者連絡協議会、ふじつうテン、中津川市レクリエーション協会福祉部）約70人がボランティアスタッフとして参加、またバザー品を提供するなどイベントを盛りあげました。

この「子どもフェスティバル」は、毎年行われており、各種バザーコーナーや施設利用児童による企画などを楽しみ大勢の方が訪れています。



▲バザーを担当する更生保護女性会



▲ビデオ記録を担当する中津川視聴覚クラブ

中津川市高校生福祉クラブ開催報告

高校生が福祉を学び考えました

目的

市内の高校生が、新しい福祉の考え方を学ぶことやボランティア体験学習を行うことにより「共に生きる」というノーマライゼーションの理念とはどういうことなのかを考え、自主的、主体的に福祉のまちづくりをめざし行動する実践力を培うことを目的としています。

主な内容

- ・福祉の沿革、資格、職種等について
- ・視覚障害者外出介助体験
- ・障害者小規模授産所からの話
- ・中津川市視覚障害者協会からのお話
- ・音訳・手話・要約筆記入門
- ・児童館、高齢者デイサービスセンターでのボランティア体験学習
- ・共同募金街頭募金活動参加
- ・参加者どうしの福祉に関する意見交換



第5回 手話の基礎を学びました



第1回 屋外での視覚障害者外出介助体験



第6回 「点字で名刺をつくろうコーナー」のお手伝い



第2回 障害者小規模授産所の自主製品づくり体験



第7回 赤い羽根募金街頭募金に参加



第3回 バザーコーナーで子どもたちと楽しく交流



第8回 修了証・参加証書授与式



第4回 デイサービスセンターでの利用者との交流

平成18年6月18日(日)から10月14日(土)の期間に、福祉学習とボランティア体験学習を8回シリーズで行う「高校生福祉クラブ」を実施し、市内の高校生23人が参加しました。

参加者からは「貴重な体験ができた」「高齢者や障害者の方の心情や立場が分かったので今後はそのことを理解して思いやる気持ちを持っていけるようにしたい」などの感想がありました。この「中津川市高校生福祉クラブ」は、平成12年から実施しており、毎年30人程度の高校生が参加しています。福祉クラブ参加をきっかけに、福祉関係に進学や就職した方もあります。



▲ボランティア団体によるバザー

平成18年10月1日(日)、坂下総合体育館にて「第12回坂下福祉健康まつり」が開催されました。住民の皆さんに最も身近な地域の保健・福祉・医療の活動を楽しく「見て、触れて体験」していただけるように、関係する福祉ボランティア団体や事業所、施設などが実行委員会を組織して行われました。血液サラサラ度チェックや骨密度測定コーナー、食べ物バザー、パラパラ体操、民謡、太鼓演奏などのアトラクションが行われ、子どもから高齢者まで600人を越える参加がありました。

「福祉のまち」を支えるボランティア 「ボランティアが参画する福祉健康まつり」

この「福祉健康まつり」は、坂下のボランティア団体(ボランティアサークルすずらん、給食ボランティア福寿草、ボランティアアコスモス、音訳ボランティアコスモス、音訳ボランティアひばり会など)が運営を支えています。



▲2007年点字カレンダー。(用紙は(株)協和印刷工業に寄付いただきました)

社協では、点訳サークルともしび会に協力いただき、地域行事予定なども掲載した2007年点字カレンダーを作成し、視覚障害を持つ希望者に贈呈しました。こうした活動は昭和56年から実施しており、障害を持つ方の情報保障支援の一つとなっています。

点訳サークルともしび会の協力による 点字カレンダー贈呈事業

中部手話スピーチコンテスト参加報告

「手話サークル「すみれの会」の高校生が参加しました」



青山真弓さん

滝川巳穂さん

▲「ことば」をテーマに言葉の使い方の大ささについて発表しました。

平成18年11月25日(土)、中部学院大学各務原キャンパスにて「第15回中部手話スピーチコンテスト」が開催され、手話サークルすみれの会会員の高校生2人が参加しました。中部地区内から第一次選考を通過した17人(中学・高校生の部10人、大学生・一般の部7人)がそれぞれのテーマで手話スピーチを行いました。今回、参加した高校生2人は、中学生の時に社協が開催した「夏期手話講座」参加をきっかけに手話サークルすみれの会に入り、現在も手話の勉強を続けています。

社会福祉協議会 登録ボランティア連絡協議会 新役員が決定しました

社協登録ボランティア団体同士の連携と協力を図り、福祉のまちづくりとボランティア活動の進展をはかることを目的とした「登録ボランティア連絡協議会」(平成9年9月発足)の会長に船戸秀一氏(中津川視聴覚クラブ)をはじめとした新役員が決定しました。現在14団体が加入し、福祉ボランティア活動発展のために取り組んでいます。

つながる びびる ボランティア団体の紹介コーナー

中津川要約筆記サークルのご紹介

(会員 25人 / H 8・4 結成)

耳の聞こえの不自由な方たちへ文字で情報を伝える通訳をしています。

OHPを使い、スクリーンに文字を映し出します。

主に講演会や会議等。他に移動中も情報を提供できるノートテイクの方法もあります。

OHPは4人構成ですが、ノートテイクは1人では負担が大きすぎるので複数で行います。チームワークが要求されるボランティアなので会員相互の和を大切にしています。

障害者
自立支援
法が施行
され、全
国統一レ
ベルの要
約筆記が
できるよう、
新たな養
成講座も
始まりつ
つあります。



▲OHPを使った要約筆記の様子

加子母託児ボランティアグループ

(会員 10人 / H 14・10 結成)



▲明治座クラシックコンサートでの託児の様子

かるボランティアの仲間が集まりました。

みんな、子育ての楽しさや大変さが手にとるようにわかるちょっとだけ先輩のお母さんたちです。その後、参観日や講演会などの場で託児活動を行ってお母さんたちにホッとしたいときを感じてもらえたと思っています。平成18年度の活動はまだありませんが、依頼があれば今後もお母さんたちを応援していきたいと考えています。

平成14年の秋、明治座でクラシックコンサートが行われた際、小さい子を持つお母さんにも楽しんでもらおうと子どもをあず

ボランティアかわら版

平成19年1月

ボランティア募集や福祉イベント、助成金などに関する情報交換ができるページです。

学校や地域で福祉体験してみませんか？

～ボランティア講師派遣について～

ボランティアセンターでは、高齢者疑似体験や車イス体験、手話入門、点字入門など福祉体験に関する講師派遣を行っています。

今年度も市内小・中学校9校から高齢者疑似体験の希望があり、中津川市レクリエーション協会福祉部のみなさんにご協力をいただき実施しました。また、手話入門では、手話サークルかやの実会・すみれの会に、点字入門では、点訳サークルのご紹介。

よつばの会に協力をいただき、講師派遣を行っています。

学校や職場、地域でこのような福祉体験学習の希望がありましたらボランティアセンターまでご連絡ください。



▲授業参観で高齢者疑似体験 (山口小学校)



▲点字入門 (付知北小学校)

みなさまからのボランティア募集・イベントのお知らせなど情報をお待ちしております。
中津川市社会福祉協議会 ボランティアセンターまで TEL 0573-66-1111 内線633・634